

Ⅲ-1

学習意欲を高める指導

自分で決めた！できた！みんなで学ぶって楽しい！

学習意欲はどんな場面で高まるのでしょうか？

ぼくは〇〇に賛成です。その理由は・・・



私もできるようにになりたい！



〇〇さんの説明で、よくわかったわ。



みんなと学ぶと楽しいな。

★自分で選択したり判断したりできるとき（自律性）

★できるようにしたいと感じているとき（有能感）

★安心して学ぶことができると感じているとき（関係性）

子ども自身が選択したり、判断したりできる場面をつくりましょう。

- 子どもが選択・決定する機会をつくる
 - ・ 子どもに、調べたいことや挑戦したいことを選択させる。
 - ・ 賛否や評価など、子どもが自分で判断する学習場面をつくる。

みなさんは、どちらの考えを支持しますか。その理由は？



- 子どもの言葉で授業をつくる、一人でも多くの子どもの声を聞く
 - ・ 子どもの発言を引き出す発問や助言を心がける。
 - ・ 子どもの発言を板書に生かす。
 - ・ ペアや3～4人のグループで、目的を明確にして話し合わせる。



次は、私の番ね。ええと私の考えたことは・・・

- 子どもの否定的な感情も受け止める
 - ・ 面白くなさそうにしている子どもを頭ごなしに指導せず、状況を確認する。

あまり興味がなさそうね。何か、困っていることがあるのかな？



なかなか上手いいかないようね。慌てずに自分のペースでやっくらん。

子どもが、「できるようになりたい」「挑戦したい」と思える工夫をしましょう。

○ 目指すべき姿をイメージさせ、学習の仕方に見通しを持たせる

- 子ども自身が成長を実感できるよう、どんな自分を目指せばよいかを明確にしておきましょう。



夏休みの思い出を、ALTの先生に英語で紹介できるようになりましょう。では、まず、どんなことから始めればいいでしょうか？



○ 適度に挑戦的な課題を与える

- すぐには分からない、できない。でも、粘って取り組めば何とか分かるかも、できるかも、と思えるような課題や活動を取り入れてみましょう。



こんな問題もありますよ。少し難しいけれどできるかな？

○ 振り返りを充実させる

- 単元や授業の終末で、子ども自身が成長を実感することを積み重ねることが、次の学びに対する意欲を支えます。

今日は、〇〇についてみんなで考えました。学習を通して、学んだことやできるようになったことを、振り返ってみましょう。



子どもが、安心して学ぶことができる関係性をつくれるよう働きかけましょう。

○ 互いに気遣うように促す

- 互いに気遣える集団をつくるのが、自分自身が成長できる環境であることを伝えましょう。

お互いに教え合っているね。だから、みんなが成長できているんだね。

これは、〇〇ということだと思うんだ。ほら、ここを見て。



なるほど、そういうことなのか。

○ お互いに認め合ったり褒め合ったりさせる

- 子どもは、友達に認められたり褒められたりすることで、満足感を感じます。

今日は、誰のどんな発言が課題解決に役に立ちましたか。



グループで学習を振り返り、お互いのよさを伝え合ってみましょう。

ワンポイント！

生徒指導の三つの視点

生徒指導提要（文部科学省）では、一人一人の児童生徒を生かした意欲的な学習の成立には、「①児童生徒に自己存在感を与えること、②共感的人間関係を育成すること、③自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助することの三つの視点に留意すること」の重要性が述べられています。授業を通じた生徒指導に努めましょう。